

岩手県技術士会会議録

会議の種類	平成24年度 第4回役員会		
開催日時	平成24年10月31日(水) 12時00分～13時15分		
開催場所	エスポワールいわて		
出席者氏名	村上功(会長)、出口清悦、加藤修、駿河弘美、海野伸、小原正明、佐々木佳裕、鈴木浩行、保憲一、牧野仁、村井研一、荘司雄一、菊地育子(事務局)		
参加人数	13人	会議録作成者	駿河弘美

【主な決定事項及び検討事項】

1 報告事項

(1) 岩手県支部設立に関する事務手続き

総務委員長から、岩手県支部発足発議書を40名の賛同書を添えて10月3日(水)に東北本部に提出したとの報告があった。

会長から、東北本部役員会における当会提出発議書の審議状況について、異論なく承認された旨の説明があった。

(2) 地方組織の規約

会長から、東北本部役員会で示された「地域組織の運営についての詳細事項に関する規則」の最新版について説明があった。

今後、総務委員会が中心となり、他県の状況も参考にしながら県支部の設立総会までに岩手県支部の規約案を作成することとした。

(3) 技術講演会の準備状況

事業兼研修委員長から、今年度の技術講演会の準備状況が報告され、開催当日の役割分担を確認した。今回の講演会は、当会の会友である前岩手大学学長の平山健一氏との意見交換の結果を基に「広く社会に対し、科学や技術をくらしの身近な存在として発信する」をコンセプトとするとの説明があった。

2 協議事項

商店街復興シンポジウムの開催について

都市部会長から、NPO 法人・まちづくり協会との共同開催によるシンポジウムの計画案が示された。協議の結果、後日、同協会と行われる計画案の調整事項の確認を待つて結論を出すこととした。

⇒ 同協会との調整の結果、この復興支援は参加者のステップアップを考慮しながら多段階で行うこととし、今回は「スタートアップシンポジウム」として開催することを確認した。この結果をもって、シンポジウムの共同開催を11月9日に了承した。

3 その他

日刊岩手建設工業新聞に連載している「技術士の目」は、12月5日掲載で100回目となる。これを記念した講演会の開催計画があるため、広報委員会が新聞社と調整することとした。

以上